

森づくり部会審議事項等の報告

- 1 開催日 平成 23 年 6 月 9 日 (木)
- 2 審議事項 平成 22 年度水と緑の森づくり事業の評価について
- 3 評価結果等

7 事業のうち 6 事業は「達成」、みどりの森再生事業は「ほぼ達成」と評価されました

事業名	評価結果	評価のポイント
(1) 里山再生整備事業	達成	計画 800ha を大きく上回る 1,218ha を整備
(2) みどりの森再生事業	ほぼ達成	計画 650ha の約 7 割となる 480ha を整備 プラン後期計画では目標値の見直しが必要
(3) とやまの森づくりサポート センター活動推進事業	達成	プランの県民参加人数の目標 7,000 人を大きく 上回る延べ 10,262 人の県民が森づくりに参加
(4) とやまの森づくり総合情報 システム事業	達成	森林 GIS データを里山再生整備事業の計画策定 やプラン後期計画の検討に活用
(5) とやまの森づくり普及啓発 推進事業	達成	「森の寺子屋」を 88 回(参加者 6,075 人)実施、 今後も開催を要望する意見が多数あり
(6) 県産材利用促進事業	達成	利用者のアンケート調査では、木の持つ特徴を 好意的に捉えた意見が多数あり
(7) 県民による森づくり提案事業	達成	新規実施団体が多数(25 団体中 10 団体)を占 め、地域の自治会や PTA など多様な団体により 実施

4 総括

- (1) 平成 22 年度の各事業とも順調に進んでいる。さらにより良い事業となるよう県民意見等をこれからの施策に反映させ、今後とも更なる県民参加のもとで事業が進むよう取り組むことが必要である。
- (2) 森づくり税を延長し森づくり事業を充実して取り組むことが必要である。